

焼津市新庁舎建設基本構想（案）に対する意見募集について

「焼津市新庁舎建設基本構想（案）」について、意見募集を実施した結果については、以下のとおりです。貴重なご意見を多数いただき、感謝申し上げます。

1 実施期間

平成 28 年 1 月 4 日（月）から平成 28 年 2 月 4 日（木）まで

2 意見数（意見提出者数）

197 件（194 人）

3 提出意見と市の考え方

多くのご意見をいただきましたが、直接、基本構想案の修正に至ったものではありませんでした。

ご提出いただいたご意見の要旨とそれに対する市の考え方は、別紙のとおりです。

焼津市新庁舎建設基本構想(案)に関するパブリックコメントに寄せられた意見の要旨及び市の考え方

意見の要旨	市の考え方
<p>新庁舎建設には多額の費用がかかり、移転せずに建設した方がコストは安くできると考えられる。 焼津駅近くの商店街もシャッターが閉じている店も多くある。焼津駅を中心とする市街地の活性化のために移転できないと考えているのか。 東北沖地震により津波の恐ろしさを多くの人が知ったと思う。今後のことを考えたらどうなのか。 1 焼津には焼津駅だけではなく西焼津駅もある。個人的には移転に賛成する。</p>	<p>概算事業費は、現在地が最も安価となります。 建設地については、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。 また、防災面にも配慮し、科学的な知見による津波浸水想定に基づき判断しています。 焼津駅を中心とする市街地の都市機能の再構築が課題となっており、また、人口減少社会を迎え、国においても都市機能を集約したまちづくりの必要性が示されています。このような中、市役所や病院など、主要な都市機能をバランスよく配置し、都市機能の集約を進めながら、市域全体の発展を図っていく必要があると考えています。 なお、西焼津駅エリアについては新庁舎建設基本構想検討委員会(市民会議)における8つの候補地からの絞込みの中で高い評価が得られず、候補地に残らなかったという経過です。</p>
<p>市役所庁舎建て替えについて、現地であろうと他の地であろうと、そもそも建て替える必要があるのか。 藤枝市もしくは静岡市に吸収してもらえば、アトレや大井川庁舎、公民館の活用で建て替えなくてもよいのではないかと。人口が減少しており、増加させる有効な対策を考えていないようでなので、建て替えた場合の費用は残された少数の市民の負担になるだけだと思ふ。藤枝市でも、静岡市でも「焼津市」という名前にこだわる必要は、全くないと思ふ。焼津市という地方自治体の存続にこだわるのではなく、藤枝市と合併する策を講じた方が、よほど有意義だと思ふ。</p> <p>2</p>	<p>現在の主な庁舎機能は、本庁舎、大井川庁舎、アトレ庁舎に分散し、市民が一つの庁舎で用件を済ますことができない場合があると同時に、建物が狭あいでも老朽化しており、市民サービスや業務効率の低下が課題となっています。これらの課題を解決するため、統合庁舎を基本とした新庁舎の建設が必要となっています。 なお、合併については現時点で考えておりません。</p>
<p>現在地エリアを選んだ理由について、「浸水エリアではありません」の判断だが、過去の地震について検討したならば、海岸に近い場所を選ばなかったと思ふ。500年前、明応地震の時に小川の乙女ヶ丘沖にあった林そう院・上行寺が地盤沈下で十数メートル以上陥没した事実がある。津波高が何メートルとかの話ではないことは判断できます。職員の駐車場は海岸付近にあるので、庁舎は無事であるが、職員は駐車場で水死してもよいとの結論でしょうか。公用車も全滅する。 現在、市役所に行くのに自家用車を利用している。今は、アトレや大井川庁舎と分散しているが駐車場が足りないのでは。市役所前のバス停、タクシー乗り場の設置を望む。 3</p>	<p>国や県が行っている地震・津波想定は、古文書などの史料の分析も含め、海岸地形等の調査、津波堆積物調査など、科学的知見に基づいて行われており、この浸水想定を判断の参考としています。 焼津市内の津波に関する伝説や伝承は、平安時代の「伊勢神明宮の由来(「伊勢島」の地名の由来)」、室町時代の明応地震の際の「林叟院(移転)の由来」や「教念寺の由来」、1699年江戸前期の「鳴子の松」の伝承などがあり、これらは、かつて、大きな地震などにより焼津市の沿岸部に津波浸水があったことを物語っています。しかし、津波の浸水域については、防潮堤等が整備されている現在と何百年以上前とは、海岸線の状況も大きく異なるため、それらの伝承的・歴史的な研究における浸水域などをそのまま現在に当てはめることはできません。 駐車場については、台数は現状の209台よりも多い315台を想定し、一部の立体化も想定して、利便性を高めるよう考えています。 バス停については市役所の北側道路と南側道路にバス停があり、タクシー乗り場については市役所から西側に80m程の所にあります。公共交通の利用など来庁者の利便性のさらなる向上については、建設計画の具体化の検討において参考とさせていただきます。</p>
<p>日本一危険な焼津市役所は、建設しない。 4</p>	<p>防災面にも配慮し、科学的な知見に基づく津波浸水想定に基づき判断しています。 なお、建設地については、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。</p>
<p>合併推進債を使うには、合併基本計画を変更しなければならない。この構想案は、合併の上で一番重要な「人口重心」が軽視されている。構想案は合併推進債を使うのにふさわしい事業とは言えない。 基本方針にある「新たなまちづくり」は人口減少にむかっては無理とあっさり捨て、現在地の維持・活性化に使うということ。これでは、状況は変わらず人口減少は続くばかりである。 5</p>	<p>合併推進債の対象事業は、市町村の合併の特例等に関する法律(平成16年法律第59号。改正前新法)の下で都道府県の構想に位置付けられた市町村の区域において、合併基本計画に基づき実施する事業です。この例示としては、本庁舎等、消防庁舎及び消防防災施設の整備事業などが挙げられています。本市の合併基本計画においては、公共施設の適正配置と整備が盛り込まれており、新庁舎の整備は、これに該当します。 人口重心については、「利便性」の評価項目の一つとして評価し、建設地の選定を行っています。</p>
<p>今後市所有のインフラの老朽化は避けられず、そのメンテナンス費用がかさんでいく中での新庁舎建設には、かけた費用に見合う効果がもたらされることが必要だと考える。そういった視点で基本方針を見ると、 ①防災拠点機能を備えた庁舎 ⑥新たなまちづくりにつながる庁舎 が特に焼津市民にとって期待される効果といえるのではないかと。 自分が住む城之腰地区は、 ・老人が多く住んでいる ・海岸に非常に近い 6 ことから、大規模津波発生時には生命の危険が危ぶまれる地区である。その近隣地区に防災拠点と成り得る市庁舎が建設されるに至ったことは、誠に素晴らしいことである。 しかしその一方で、耐震偽造・杭データ偽装等建設工事に絡む不正・偽装が問題となり、それらは氷山の一角にすぎないという専門家の見解すら見受けられる。建設工事に不正・偽装があれば、災害発生時に防災拠点としての機能を果たし得ない事態が生じかねない。完全な第三者による施工確認を義務付けるべきだと思ふ。市税の有効有益な利用を期待する。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 建設工事の監理体制に関しては、十分な体制を確保し、工事を適正に執行します。</p>

意見の要旨	市の考え方
<p>この度の新庁舎建設は、海拔1.8mに建設されている現庁舎を移転する絶好のチャンスである。自然災害の恐ろしさは人間の英知を結集してもなお、それを上回る力を持っている。本庁で働いている職員及びそのご家族は、不安はないのか。よりリスクの小さい所への移転を望まれているのではないかと。本案通り建設された場合、万が一にも犠牲者が出ることは許されない。「想定外の津波でした。」では済まされない。市の責任は大変重いものになる。基本理念である「市民の安全と安心を守り…云々」からも、津波のリスクのより少ない所に移転すべきと考える。</p> <p>また、「協働の拠点として市民に親しまれる庁舎」の基本理念からは、現庁舎は地理的に北の端に位置し、市の中心部とはいえない。まちづくりの面から「中心市街地に位置し、焼津駅に近い、焼津漁港に近い等々のことから将来の都市機能を集約したまちづくりの方向性に整合している」とされているが、そこに庁舎が有る、無しはそれほど大きな問題とは思えない。</p> <p>防災面からみて、災害対策本部を置く消防防災センターの機能と連携して、サテライト的な活動拠点機能を設けて災害時に備える体制を整えるには、防災センター、警察署、病院が隣接する「総合病院エリア」に建設するのが妥当と考える。</p> <p>焼津駅に近い事をメリットとされているが、市外から来る人の利便性より、市民の利便性を優先に考えていただきたい。市民が本庁に行くことはさほど多くはないかもしれないが、地域の役員になった時などは、何回も足を運ばなくてはならない。</p> <p>事業費の面からは、確かに「総合病院エリア」は本案より15億円(1.18倍)余分にかかるが、安全・安心を考えて丁寧に説明すれば市民の協力は得られると思う。今回のパブリックコメントだけでは、若者たちの意見を把握することは困難。これから30年、50年と役所で活躍したり、役所を活用するのは若者。若者たちに政治に関心を持ってもらうのに絶好のテーマです。何らかの形で若者たちの意見を聞く機会を是非与えてほしい。そのために工期が半年、1年遅れてもよいのではないかと。</p> <p>以上のことから、今回の構想案について、再検討の上、見直しされることを強く要望する。</p>	<p>東日本大震災を教訓に、国は、想定外の災害をなくすため、発生確率は極めて低く、過去に発生した記録はないが発生した場合は甚大な被害をもたらすマグニチュード9(レベル2)の地震・津波の被害を想定行いました。これが、「万が一」の地震・津波にあたるものと認識しています。防災面での検討ではこれらの想定や、津波防御施設整備後の浸水想定などを参考としており、このような科学的な想定に基づき判断することが適切と考えています。</p> <p>建設地については、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。</p> <p>「まちづくり」の観点では、焼津駅を中心とする市街地の都市機能の再構築が課題となっており、また、人口減少社会を迎え、国においても都市機能を集約したまちづくりの必要性が示されています。このような中、市役所や病院など、主要な都市機能をバランスよく配置し、都市機能の集約を進めながら、市域全体の発展を図っていく必要があり、消防防災センターにおける災害対策本部の機能との連携の強化も含め、新庁舎の整備を進めたいと考えています。</p> <p>若い人たちの意見も含め、市民の皆さまのご意見については、平成24年9月に設置した焼津市新庁舎建設基本構想検討委員会(市民会議)やその検討過程で実施した市民3,000人を対象とする市民アンケートなどを通じて反映させるよう努めてきました。構想案の策定後は、市民説明会や広報やいつ等により構想案の内容をお知らせし、ご意見を伺い、このパブリックコメントもその一つの手段です。長い時間をかけて検討の各段階を積み重ねてきたものと認識しています。</p>
<p>現在地に新庁舎を建設してください。</p> <p>理由</p> <p>①建て替えの理由は老朽化であり、津波からの避難ではない。</p> <p>②建設コストが一番安い。</p> <p>③現在地が市民に周知されている。</p> <p>④津波だけを考えてもダメ。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
<p>「現在地」に新庁舎を建設することに賛成。</p> <p>周辺商業地域の活性化、焼津駅からの利便性、焼津のランドマークとして現在地が妥当。</p> <p>限られた予算の中で、知恵を絞って邁進願います。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
<p>本町の現所在地にそのまま建設を要望する。</p> <p>焼津港の周辺は整備され景観もよい。</p> <p>移転した場合、津波のイメージが強くなり、海岸近くの人々の流出が心配。駅からも近く焼津港を健康資源として活かし、活性化させて欲しい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
<p>先の東日本大震災のイメージが強く地震津波に対する不安が説明会では払拭できていない。最大クラスの地震が発生した証拠も見つかっていないと断言し、市長の答弁もそれをベースに「想定外」の文言を終始禁句として見えた。地球の長い歴史に比べて百年余りの近代観測ではいくら権威者の意見で、対策施設が整備完了後に浸水想定区域にはならないと説明されても信用はできない。地震予知等できない現状では、せめて高台に建てる方が安全としか考えられない。東日本大震災後、現地視察をされた市関係者も沢山居られたでしょう。見聞した人たちの率直な感想を尊重して説得のある文言を作っていたらと思う。地震の震災後、高台にしか増改築、新築を認めない条例を作った等(仙台市)震災の教訓は沢山あると思う。</p> <p>立地条件など小さなことだけを盾にするのではなく発想を逆転して、税負担や実際使用する立場となる若い人たちの意見も訊ねて建設に反映すべきだと思う。意見にも出されたシルバーだけの民主主義にならないよう、高齢者たちにもその責務があるのではないかと。</p>	<p>東日本大震災を教訓に、国は、想定外の災害をなくすため、発生確率は極めて低く、過去に発生した記録はないが発生した場合は甚大な被害をもたらすマグニチュード9(レベル2)の地震・津波の被害を想定行いました。これが、「万が一」の地震・津波にあたるものと認識しています。防災面での検討ではこれらの想定や、津波防御施設整備後の浸水想定などを参考としており、このような科学的な想定に基づき判断することが適切と考えています。</p> <p>新庁舎建設基本構想は、学識経験者や市民の意見を取り入れたものとするため、市民10人を含む「新庁舎建設基本構想検討委員会(市民会議)」を設置し、検討をしてきました。検討の過程では市民3,000人を対象にアンケートを実施するなど、市民の皆さまのご意見を伺いました。約2年半の検討を経て平成27年2月、新庁舎建設基本構想(市民会議案)が市に提出され、これを原案として市の基本構想案を策定しました。</p> <p>建設地については、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。将来の財政負担の抑制・平準化のため、事業費面にも十分配慮しました。</p>
<p>①市の中心でありその利便性は高いので現在の位置しかないだろう。</p> <p>②津波地震対策として、津波高さ12mを防御するのは簡単ではない。防波堤は破壊され新築される庁舎にも被害は必ずあると予想されるので、極力、大井川、本町へ分舎化し、最小限の機能(市民課、総務課等市民直結の窓口のみとする)と災害本部機能を充実した建物としたい。もちろんその中には市民の一時的な避難施設も十分機能を持たさなくてはならない。</p> <p>③旧大井川庁舎、アトレ庁舎の機能をさらに充実させ、新築庁舎は、極力スリム化する。情報伝達機能をさらに高めて、決して誤作動の無いシステムを構築すること。</p> <p>④華麗な建物としない。構造を堅固に作り、室内仕上げは極力ローコストに仕上げる。併せて省エネルギーも十分検討する(雨水・日射等)。自然エネルギーを備蓄したい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>庁舎機能は、分散化による市民サービスや行政機能の低下が課題となっており、統合を基本として検討を行います。大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などにより、市全域の行政サービスの利便性をより一層高めていく考えです。</p> <p>また、新庁舎の省エネルギー等に関しては、基本構想案の第5章に記載しており、ライフサイクルコストを抑えた経済的な庁舎づくりを目指します。</p>
<p>現在の場所に建設されることを望む。</p> <p>コストが一番安く津波到達区域の一時緊急避難場所としての役割を担うということでもあり「現在地」に賛成である。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
<p>新庁舎建設は「現在地エリア」案に賛成する。</p> <p>まちづくりの形成、行政拠点機能を活かす上でも、また、建設費用面、防災の見地でも、浸水想定区域外なので、この案が有効と考える。</p> <p>次に、スマートICを活かした周辺のまちづくりについて、開発にあたり関係法の改正が必要とのことなので、全力でこの問題に取り組む、ICを活かしたまちづくりのために御尽力頂きたい。ICは焼津市及び志太平原の発展のための『重要』なものであると思う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>大井川スマートインターチェンジ周辺のまちづくりに関しては、本基本構想案には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>新庁舎は現行と同地区が望ましい。</p> <p>一番は、低コストであること。</p> <p>津波が来ても安心して避難ができ、機能がマヒしないなど津波対策に注意してほしい。</p> <p>同地区の活性化につながればと思う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>

	意見の要旨	市の考え方
16	<p>意見の要旨</p> <p>現在地は鉄道の駅と輝かしい実績を上げた旧港に近接し、庁舎との3点を結ぶこの場所は、再生焼津に重要なポイント地と思う。他市を見ても、鉄道駅周辺が活気がなければ市全体が元気にならない。車で移動する場合は一筆書きの移動だが、駅から来た人は駅へ戻って帰る。同じところを2回移動する。「現在地へ建設」なるからこそ、活気ある街づくりがかなうように願っている。</p> <p>以下に、私の「庁舎への希望」と旧港や公用地、景観を利用するアイデアを挙げる。</p> <p>1 新庁舎へのぞむこと</p> <p>防災対策、危機管理の充実、市内に分散した施設を統合、ユニバーサルデザイン(バリアフリー、スロープ等)の導入、駐車場の統合と近隣への配慮。</p> <p>従来の市民業務に加え「市民参加の町づくり」「市民交流」のできるスペースを確保し、内外に開けた市役所とする。(1階にボランティア登録コーナーを設ける)</p> <p>焼津市の活性化のためには、もっとマンパワーや今あるもの(旧港やここに接する空き地、公用地(もとの福祉庁舎、新港の土地)、中学生、高校生、地元大学生、団塊の世代や独身・独居の人、市内の海岸線から見える富士山、伊豆半島、駿河湾の景観)を活かすことも必要。</p> <p>具体的にあげると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼津駅構内に「観光案内所」を設ける。 ・駅から少し歩いた先(もとの福祉庁舎の角地)に「休憩所と案内所を兼ねたスペース」をつくる ・新庁舎内に、市民も職員も外来者も利用できる安くて「地元材料をつかったメニューの食堂」をつくる。(島田の伊太和里の湯のようにシルバー世代がここで働く) ・新庁舎の上階に「展望室」を設ける。(県庁にあるようなスペース)焼津市内と富士山、駿河湾、伊豆半島が見え楽しめる。 ・焼津駅からスタートし「市内の名所等をめぐる小型バス」を毎日2コースくらい走らせる。(熱海市のように車内でシルバー世代がミニガイドを務める。1日自由に使える周遊券発行)(名古屋市もやっている(「めぐるバス」)) (休日は、市内の中・高校生も参加しボランティアガイドをする。金沢市がやっている。) ・新港の空き地又は、アケラス隣接地にて「日帰り入浴施設をつくり駿河湾を眺めながら入浴できるようにする。(シルバー世代や団塊の世代に働いてもらう) ・旧港、新港、大井川港からの駿河湾フェリーを楽しめるようにする。 ・焼津と西伊豆を結ぶ「駿河湾フェリー」の実現 <p>以上、焼津駅、新庁舎、港を利用し焼津のいいもの(名所、食べ物、景観)に触れ、もう一度見たい行きたい、次は宿泊したいと思ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代を利用することにより、将来の介護予防や生きがいづくりにもなり、一石二鳥。また、もの世代の孫は、中高生であり家庭内に「町の活性化」精神が浸透し、都会への若者流出を食い止められれば一石三鳥になる。 ・独身、独居者にも休日ボランティア参加してもらえれば「就活」「婚活」にもなり、少子化に歯止めとなる。 ・焼津の浜から見える景観は、世界遺産となった三保松原の景観を少し引いた景観であり、これを利用しない手はない。むしろ世界遺産の制約がない分、防災面での整備と両立ができる。 <p>ディスカバリーパークの5階展望台から眼下に広がる景色をゆっくり眺めてください。わが町やいづは、こんなにすばらしくやさしく、豊かなまちである。</p>	<p>市の考え方</p> <p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>防災対策、ユニバーサルデザイン、駐車場の確保や市民交流のスペースについては、基本構想案における基本方針や導入機能としても記載しており、地元材料を使ったメニューの食堂や、展望室につきましては、建設計画の具体化の検討において参考とさせていただきます。</p> <p>また、駅構内への観光案内所や旧福祉庁舎跡地の利用、それから市内各所をめぐる小型バスなどのご提案につきましても、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
17	<p>構想案における各候補地の評価は「◎○△」となっており、どの項目でどのくらいの差があるのか分からない。全体的にいえることは、焼津市全体の評価ではなく現在地から見た評価が多く、市庁舎建設とは別次元で検討すべき点を取り入れている。</p> <p>1 防災面</p> <p>現在地と他地区とは差が無い様な評価となっているが、現在地は相当な対策があつてマイナス面が緩和されるだけで多くの市民が指摘するように、心理面の評価減は大きいはず。</p> <p>2 利便性</p> <p>現在地は合併後の人口重心から最悪(旧大井川町からの不満は相当なもの)。鉄道・既存バス路線・道路状況は西焼津駅と遜色ないにもかかわらず、焼津駅のみを取り上げている。</p> <p>3 まちづくり</p> <p>基本方針にある「新しいまちづくり」は人口減少では難しい(市長説明)と取り上げず、焼津駅周辺の活性化に阻害があると、他地区にマイナス点を付けている。さかなのまち・港を活かしたまちづくりは市庁舎とは連動しない問題である(他地区と同様、現在地も特色を活かしたまちづくりができる。)。転入者(これから住宅を持つとする若者世帯)を増やすには、他地区が断然可能性がある。</p> <p>4 事業可能性</p> <p>公共施設再編事業に使えるからといって、現在地への庁舎建設が合併推進債を使う事業かどうか、旧大井川町の住民感情から考えても大いに疑問である。</p> <p>敷地形状は現在地が最低。都市計画法の容積率が有利なため高層建物となり住宅地が入り込んだ状態になる。(市有地だけの計画のようで、土地取得はしないとの説明があつたので、後日の公法による買取りか。)</p> <p>駐車場が1階で、空閑地が少なく開放感が無い。若者世帯は開放感ある庁舎を求めている。</p>	<p>建設地については、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。</p> <p>防災面につきましては、発生確率そのものが極めて低い、南海トラフ巨大地震といわれる最大クラス(マグニチュード9)(レベル2)の地震・津波の被害想定において、現在地は1.6mの浸水と想定されています。これについては、ご指摘のように、周辺の津波防御施設の整備によって浸水がなくなる想定であることや万が一の浸水に備えた対策をすることで技術的に課題が解消できることも加味して評価を行っています。</p> <p>利便性については、新庁舎建設基本構想検討委員会(市民会議)においても、人口重心からの距離を利便性の評価項目の一つとしてとりあげて評価しており、また、西焼津駅エリアについては新庁舎建設基本構想検討委員会(市民会議)における8つの候補地からの絞込みの中で高い評価が得られず、候補地に残らなかったという経過です。</p> <p>まちづくりに関しては、新庁舎建設だけを考えるのではなく、現在策定中のまちづくり関連計画との整合を図りながら、市全体のまちづくりを見据える必要があると考えています。策定作業中の中心市街地活性化基本計画との整合も図っています。</p> <p>事業可能性については、現在地の敷地の形状は整形ではありませんが、商業地域としての容積率を活かして高層化し、駐車場についても来庁者に使いやすいものとなるよう、建設計画の具体化の中で検討します。</p>
18	<p>現在地に現庁舎を利用した新庁舎の建設を望みます。</p> <p>焼津駅に近く、交通の便も良く、観光の目玉となりうる焼津港に近い。駅前商店街、昭和通り商店街と隣接しており、これからのまちづくりに切り離せない施設と思う。</p> <p>また、事業費も、現庁舎を利用した新庁舎建設がいちばん安価な計画である。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
19	<p>新庁舎の建設地として現在地を選ぶことに賛成する。</p> <p>現在地の最も大きな不安要素は防災面であったが、津波に対して心配ないということなので、現在地が一番自然と思う。</p> <p>焼津駅は焼津の玄関口だが、周辺は実にさびしく、魅力を感じない。そのうえ市庁舎まで移転すれば、駅前通りや昭和通りに今以上の人の流れは望めないように思う。市中心部のまちづくりのためにも、現在地に建ち、市のシンボリックな存在になってくれたら良いと考える。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
20	<p>現在地への新庁舎建設に賛同する。他の2か所では費用面に多大な負担が伴う。防災面の更なる充実を願う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
21	<p>概算事業費比較で、現在地エリアを建設地にすることが、安価であるので賛成。付帯条件は、津波対策として焼津港、小川港の港口ゲートを早期に実現すること。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>焼津港の津波対策やその他の地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
22	<p>静岡県第四次想定において、レベル1の地震・津波による浸水地域では無いとの説明もあり、JR焼津駅からも近くにある交通至便の場所です。新庁舎建設地を現在地にすることに賛成である。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
23	<p>経費をかけず、焼津市の安全性をアピールしてほしい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
24	<p>焼津市の歴史を作り発展をして来た役所を他に移転させる理由は何もない。下田市のような計画では市民に説明しても納得はありえない。市民のためにも職員のためにも新しい立派な市役所を早急に作ってもらいたい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>

	意見の要旨	市の考え方
25	市民に親しまれる新庁舎を早く建設してください。旧大井川庁舎も文化等の発展する施設を作ってもらい、子供達が夢を持てる市を作ってください。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 旧大井川庁舎についての検討は、市民サービスセンター機能を存続するとしてい ます。 文化等の発展する施設などについては、本基本構想案には直接反映できませんが、 今後の参考とさせていただきます。
26	現在地への新庁舎建設が望ましいと思う。 新庁舎の早期建設を期待する。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
27	焼津市発祥の地とも言える現在地に新庁舎を建設することは、中心市街地の活性化 のためにも最高の判断だと思う。 地震津波対策も引き続き対応を願う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
28	現在地への新庁舎建設が望ましいと思う。 新庁舎の早期建設を期待する。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
29	本庁舎を内陸部へ建設すると市民が他の行政区へ越して人口の減少が顕著になる。 雇用の誘致をはかるとともに活力ある街作りを進めるため、設置場所は現在地で賛 成。 (他1件)	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
30	建物の老朽化と5年前の東北大震災の発生による被害を想定すると、南海トラフ、東 海沖地震の恐怖にさらされている沿岸地帯の防災に対する市民の感覚としては、現在 の場所に建て替えることにはなかなか賛同は得られないと思われる。しかしながら公 に公表した現在では、より高度な防災対策を講じた上での建設を願うものである。 大井川庁舎は今まで以上に行政のサービスを提供できる場所として充実したものを継 続してもらいたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 防災機能の強化のため、新庁舎には、いち早く災害対策について検討ができる情報機 器を備えた会議室や通信機器等を整備していく方針です。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票 等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。
31	① 現在大井川庁舎で事は足りているが、今後の動向で何が起きるかわからない。そう した時、市民が本庁へ出向かなくても良いように大井川庁舎の機能を充実を願う。 ② 誘致している企業が撤退しては困るので、安心安全をアピールするためにも対策を 望む。 ③ 防潮対策をしっかりと確立して頂きたい。	大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票 等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
32	地域の代表や産業界の代表、学識経験者が様々な角度から検討・熟慮を重ね築き上 げた結論を尊重したい。市民の総意として建設に向かって進んで欲しい。 決まったからもう意見(異見)は聞かないではなく、耳は常に開いていて欲しい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 庁舎の整備事業に関しましては、今後も、市民の皆さまに情報をお伝えし、ご意見を伺 いながら進めたいと考えています。
33	1. 老朽化による新庁舎建設はやむを得ないと考える。 2. 建設場所を現在地とすることに賛成です。 理由は次のとおり。 (1)港町焼津を象徴する場所。 (2)市の象徴である庁舎を置くことで津波対策は大丈夫であること示している。 (3)市中心地、焼津の空洞化を防げること。 (4)コスト最も安く済むこと。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
34	本庁舎を内陸部へ建設すると市民が他の行政区へ越して人口の減少が顕著になる。 雇用の誘 致をはかるとともに活力ある街作りを進めるため、建設場所は現在地とする ことに賛成する。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
35	市役所が現在地から移転することは絶対反対である。水産都市焼津の中心地に私達 生活に一番大事な機関がそろっている所は他にはない。焼津はここが発展の中心。市 民には、焼津市ここにあり！！と声を大にして叫ぶ意気がほしい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
36	現在の焼津市役所の位置は昭和の合併の際に核となった焼津町の庁舎の位置であ って、それから60年以上の年月が経ち、焼津市の形も変化してきており、まちの機能(職 住、商業)としての重心も大きく変化している。さらに平成の合併でさらに変わることが 想定されるのに、旧態依然どころか形骸化した中心市街地にこだわる必要があるのかど うか疑問に感じる。今後の焼津市の発展について考えれば、何処に市庁舎を置くかが、 これからの焼津市の姿を考えていくビックチャンスと捉える必要がある。 いつ起こるかかわからない大地震に対して、県の浸水想定ではL2の津波でもいずれ大 丈夫になるといながらも、新庁舎計画の中で震災対策について配慮している。新庁舎位 置の選定に当たっては、まず可能な範囲で安全な場所を選ぶべきである。群馬大学の 片田教授も言っていて、「その時出来る最大の対応をすべきだ。」とあり、将来何かあ って「想定外でした。」と無責任な発言をすることがあってはならない。たとえ地震津波に 大丈夫でも周辺地域の状況を想像すれば、震災後に機能しない市庁舎が残っても全く 意味がない。震災対策は建物だけではできないことを認識すべきだ。 市民説明会でも十分納得できる説明はなかった。その中で住民投票についての参加 者の意見もあったが、せめて市民の代表者である市議会議員の意見はどうなのかにつ いて意見交換し、公表する場があってもいいような気がする。	焼津駅を中心とする市街地の都市機能の再構築が課題となっており、また、人口減少 社会を迎え、国においても都市機能を集約したまちづくりの必要性が示されています。 このような中、市役所や病院など、主要な都市機能をバランスよく配置し、都市機能の集 約を進めながら、市域全体の発展を図っていく必要があり、消防防災センターにおける 災害対策本部の機能との連携の強化も含め、庁舎整備を進めたいと考えています。 東日本大震災を教訓に、国は、想定外の災害をなくすため、発生確率は極めて低く、 過去に発生した記録はないが発生した場合は甚大な被害をもたらすマグニチュード9(レ ベル2)の地震・津波の被害を想定行いました。これが、「万が一」の地震・津波にあたる ものと認識しています。防災面での検討では、これらの想定や、津波防御施設整備後の 浸水想定などを参考としており、このような科学的な想定に基づき判断することが適切と 考えています。 基本構想案につきましては、市議会においても議員全員協議会での説明、新庁舎・新 病院建設に関する調査特別委員会における調査や、一般質問、関連議案の審議などを 通じて議論を重ねてるところです。 なお、平成27年2月市議会においては、平成28年度新庁舎建設基本計画策定費用を 削減する修正予算案は、反対多数で否決され、現在地への基本計画の策定事業費が 承認されました。
37	仕事で焼津市役所に月に2～3回訪問している。東京から新幹線とJRを乗り継ぎJR焼 津駅へ、JR焼津駅からは徒歩で市役所へ向かう。焼津駅から徒歩圏内の現在の立地は 大変便利だと感じており、建設候補地が「現在地エリア」であることは大変喜ばしく思う。 他の場所になるとアクセスが非常に不便になるので、現在地エリアを強く希望する。電車 網が行き届いていて、かつ、駐車場代が高額の東京都心では、車を保持しておらずペ ーパードライバーの20代・30代の若者が多数おり、彼らにとっても「現在地エリア」での建 設は望ましいのではないと思う。 しかし懸念もある。津波の問題である。東日本大震災で津波の恐ろしさを目の当たり にしており、海から遮るものが何もない現在地エリアには少し恐怖を感じてしまう。現在 地エリアに建設をする場合は津波対策をしっかりとしてもらいたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
38	現地点での新庁舎建て替えに賛成する。市役所へ市民が訪れ、サービスを受する 拠点施設としての市役所の新庁舎建設は、街づくり、安心・安全の面等を考慮すれば遅 きに失した観は否めないが、焼津市として態度を表明したことは評価できる。 焼津市内のどこに新天地へ移転しても、地域間の利権享受など争い事になりかねず、 地域間で遺恨を残すことになる。 また、新しい街づくりや市民の安全・安心の観点から新庁舎建設は急がれるべきであ り、用地買収や地域開発に長い時間をかけることは絶対に許されない。 さらに、新天地移転する場合は焼津市全体の都市計画を考えて、慎重に検討されるべ きであるが、検討する時間はない。 一方、焼津市の街づくりの観点から考えると、駅前から中心市街地の衰退は目を覆 いたくなるものがあるが、市の中心市街地から多くの市民が集まる市庁舎が他地域に移 転すれば、この現象に拍車がかかり、焼津市の街づくりは壊滅状態になる。 ただし、現地点は沿岸部に位置するため市民の安全・安心を確保するためには、防波 堤等や避難地の設置などの防災対策は不可欠である。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。

	意見の要旨	市の考え方
39	本庁舎の設置場所は現在地でよいと思う。 大井川庁舎での機能の充実を図り、そこで用事が済まされるよう望んでいる。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。
40	1 新庁舎の必要性について 下記の理由により基本的に賛成である。 ① 老朽化 ・本庁舎は築約50年となり耐用年数超えを迎えていること。 ・災害時は消防防災センターに本部を設置する予定ではあるが、震災後の庁舎機能が損なわれている可能性が高いこと。 ② 分散化された各庁舎と機能 ・分散化による市民への行政サービス効率の低下や職員の配置、事務効率の低下の傾向を解消するため。 2 新庁舎建設に期待する事 ① 防災機能の充実 ・災害を想定したハード・ソフト面の機能構築。 ② 行政サービスの向上 ・新庁舎の連携のとれた建屋構造と行政サービスの提供。 ③ 市民の身近な存在であること ・市民が利用活用できる付加価値のある構造。 ④ 建設コスト ・将来(中長期)の構想を踏まえ建築コスト・維持コストの適正化を図る。 ⑤ 現状の分散化した各庁舎 ・各庁舎の今後の活用計画を慎重に検討してほしい。 3 新庁舎建設場所について ① 防災面・利便性・地域活性化・将来性の面で公平な評価結果を尊重。 ② 個人的には防災面での不安が残る。 4 大井川庁舎の行政サービスについて ① 新庁舎建築により住民サービス・利便性の低下が発生しないように期待する。 ② パスポート申請の窓口機能を加えてほしい。 5 焼津、藤枝スマートインターチェンジ(S・I)開通の効果に期待すること ① 交通利便性の向上 ② ①だけではなく、周辺地域の開発による活性化を図ってほしい。 ・工業団地として企業の誘致・商業施設の誘致を積極的に推進し地域の活性化を図ってほしい。 ・誘致企業からの税収等で市の財源増加を図る。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。 また、大井川庁舎でのパスポート申請の窓口機能、スマートインターや企業誘致に関しましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
41	建設予定地について構想案(現在と同じ場所)への賛成の意見である。 理由は、個人的な通勤の便もあるが、「協働の拠点」としての機能が重要と考え、駅・市街地に近い現在の場所が良いと思う。 行政サービスや新しい「まちづくり」については、市役所だけでなく民間企業の参画・協力が必要な内容も多くあると推察する。 市民だけでなく、そこで働く人たちも気軽に集まれる場所であることが大切である。 焼津市の市民・企業が行政と一体となって発展し、一緒に新しい「まちづくり」が推進できるインフラ基盤としては、現行の立地案が最適だと考える。 仕事柄、焼津市の企業を応援する立場にあるため、自身を含め、そこで働く人の仕事や生活の向上に繋がる内容と思い、書かせてもらった。 最後に、防災・安全面(特に津波対策)は必須な前提条件と考える。 安全対策を尽くした上で、現在地に建設されればうれしく思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
42	新庁舎を現在の場所へ建てるのに賛成である。 <理由としては> ・今の場所へ建てたほうが建設費が少なく、メリット大と考える。 ・焼津駅を含め、一帯の空洞化を防ぐ必要がある。 <要望としては> ・駐車場の集約と増加。 ・大井川庁舎業務の充実。 ・津波対策をしっかりやってください。 <その他として> ・焼津港を主とした観光化の推進(沼津港を参考に)。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 駐車場については、台数は現状の209台よりも多い315台を想定し、一部の立体化も含めて検討を行います。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。 また、焼津港を核とした観光の推進に関しましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
43	本庁舎の設置場所は現在地で賛成である。 庁舎を新築する財源から考えるに現在設置場所が一番金銭的にも安価と思う。 支所機能の充実を図り、支所で用が足りることを望む。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。
44	現状、庁舎が老朽化していること、将来の焼津の発展を考えると、新たな庁舎の建設は必要だと思う。そのうえで、市から有識者による種々の検討会を経て建設場所を現在地という案の説明があり、説明に納得して賛成する。 地震津波に対し不安に思う人もあると思うが市の説明を信用することが大事。現在地に建設することは安全性のアピールにもなる。 また、他の候補地より建設費用も安く工事期間も短い。 積極的に事業を進めていただきたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
45	新庁舎建設基本構想の説明会に出席した。 1回目の東益津にもかかわらず豊田地区の方が来ていた。関心の大きさを垣間見た感がある。 巨額の見積が出て中、現庁舎の所が最も市民の利便性や費用の面、また、焼津の中心的存在でこの地から離れることは県の被害想定を無視することになるのではないかと。県の調査を信じて現庁舎の跡地に建設することに賛成する。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
46	今回の新庁舎について移転しない。建物を5～6階(10m以上)の高さで最上階を避難場所にすれば近くの人が避難できると思う。そうすれば納得できると思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
47	現在地に建設することに賛成する。 市役所が移転することは、全国に焼津は危ないというメッセージを送ることと同じと考える。 市役所は今の場所に建つべきだ。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
48	1 まちづくり 市長の説明にあるように、それぞれの地域に合った「まちづくり」が必要なのはそのとおりである。そこで、焼津駅から現市庁舎・港にかけての活性化の素案を書く。 昔の駅前通り・昭和通りのような商店街を望むのは、郊外型の大型店の集客力にはかなわず、近隣の消費者の便のみとなる。そこで、市長が言うように、「さかなのまち」港を活かしたまちとして、現市庁舎の地に拠点をつくる。 2 合併基本計画の変更 合併推進債を使うために、平成30年までに議会に諮った上で、計画変更をすることのようだが、庁舎建設に矮小化した変更ではなく、焼津市全体の基本計画の変更(建設案の上位概念)となるよう慎重審議を望む。 構想案での高層ビルにより、一時的(10年くらい)に物珍しさもあり、周辺に変化があるかもしれないが、現在でも市庁舎があるのと同じで活性化とはつながらない。 また、深刻なのは構想案で兆候が出ているが、市がバラバラになる(市長懸念)こと。	焼津駅を中心とする市街地の都市機能の再構築が課題となっており、また、人口減少社会を迎え、国においても都市機能を集約したまちづくりの必要性が示されています。このような中、市役所や病院など、主要な都市機能をバランスよく配置し、都市機能の集約を進めながら、市域全体の発展を図っていく必要があると考えています。 現在策定中の中心市街地活性化計画では、焼津駅、焼津港、市役所の3つ拠点を回遊することで賑わいを創出する構想としています。ご提案のまちづくりの視点も参考とし、計画の推進に生かしたいと考えます。 合併基本計画の変更内容については、現在のところ、計画期間の5年間の延長とこれに伴う内容修正が必要になると考えております。 まちづくりは新庁舎建設に限ったことではないと理解しており、市域全体の発展に向けて、各政策を推進していきます。

	意見の要旨	市の考え方
49	<p>新庁舎建設は、現在地への建設を願う。 JR焼津駅近く、魚の町焼津のシンボル港にも近い、長年親しまれた場所である。焼津祭り(焼津神社)から離れてしまうのも淋しい。 思い出深い商店街の昭和通りに隣接し、また焼津駅から市役所まで歩けば駅前通りが通り道になる。これらの商店街にとって、市役所の存在は大きく、今後の商店街の発展に大きく影響する無くてはならない公共施設である。 計画されている新庁舎は高層になるとのこと。港をはじめ、駿河湾、高草山、富士山などの美しい景色を楽しめる、市民の空間を上層階の設けてはどうか。 他の候補地になると、土地の取用など多くの問題が起きて、時間的にも、また予算的にも難しいと思う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 上層階への市民の空間等につきましては、建設計画の具体化の検討において参考とさせていただきます。</p>
50	<p>津波の心配のある場所に市役所を置くのは良くない。防波堤が絶対に安心とはいかないことは、前回の地震で証明されている。市役所で働く人たちも、訪れる市民も安心安全が必要と思う。 市立病院の周辺の方が、市全体の間接地であり、また、災害が起きた時は防災センターの近くの方が連携が取りやすいのではないかと。</p>	<p>防災面にも配慮し、科学的な知見に基づく津波浸水想定に基づき判断しています。 東日本大震災を教訓に、国は、想定外の災害をなくすため、発生確率は極めて低く、過去に発生した記録はないが発生した場合は甚大な被害をもたらすマグニチュード9(レベル2)の地震・津波の被害を想定行いました。これが、「万が一」の地震・津波にあたるものと認識しています。防災面での検討では、これらの想定や、津波防御施設整備後の浸水想定などを参考としており、このような科学的な想定に基づき判断することが適切と考えています。消防防災センターにおける災害対策本部の機能との連携の強化も含め、新庁舎の整備を進めます。 市の人口重心からの距離についても、「利便性」の中の項目の一つとして評価し、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。</p>
51	<p>使い慣れた現存の場所の方が市民も職員も使いやすい。 また、上層階から見渡せる焼津港、高草山、駿河湾なども焼津市をPRするのにとても良い立地だと思う。 駅からのアクセスも良いので新庁舎の上層階には展望フロアを設けて市民や市民以外の方々も利用できる建物にして欲しい。 焼津市をもっともっとPRするためにも、是非、現在の場所に建て直していただきたい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 上層階への展望フロア等につきましては、建設計画の具体化の検討において参考とさせていただきます。</p>
52	<p>本庁舎を内陸部へ移転すると企業の誘致が困難となり、人口減少も顕著となる。 街を活性化するためにはマイナス要因となり街が寂れることになる。したがって本庁は現在地へ設置、市民がわざわざ本庁まで出向くことがないよう、庁舎機能の充実が図られるよう考慮されたい。 また、新設される大井川インター周辺地は土地の開発が思うようにできない市街化調整区域でしばらくがある。折角できるインターをこの地域の目玉として県国の関係機関への要請、商業地域としてにぎわいのあるまちづくりを考えられたい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。 また、スマートインター周辺地域の開発等に関しましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
53	<p>本庁の設置については現本庁の場所で賛成。にぎわいのあるまちづくりは人口を増加させ、雇用、働き場所の確保のため企業の積極的誘致を要望する。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 企業の積極的誘致に関しては、本基本構想には反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
54	<p>新庁舎建設基本構想(案)の説明会に参加し、新庁舎建設の必要性は理解できた。 建設地として「現在地」エリアが最適であるという案に賛成する。 約2年半にわたり、ワークショップ・市民アンケート調査など多くの人の意見を反映させてきている。また、様々な観点から8候補地から3候補地へそして1候補地へと丁寧な手順をふんで絞り込んできているからである。大事なことは、基本理念と基本方針のもとに「まちづくり」「事業実施面」「防災面」及び「利便性」の4つの視点を総合的に判断した結果として「現在地」エリアが選定されているからである。 当然のことながら、現在地」エリアには様々な課題がある。今後、建設的な意見を出し合い、多くの視点から総合的に判断する中でよりよい課題解決を目指してほしい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
55	<p>焼津市出身で以前焼津市に住んでおり、現在は、東京都に会社を構え、ICT事業を営んでいる。 現在、私は月に数度仕事のために焼津市役所を訪問している。また、昨年には焼津市に事業所を開設すべく準備を行っている。(現在、仮事務所を構えている。) 現在の焼津市役所は東京駅から新幹線を利用すれば最短1時間半で移動ができる。これは大変便利なことで、時間的にみれば東京近郊に移動するのと変わらない。それを実現できるのも現在の市役所が焼津駅から徒歩7分ほどの近距離にあるからだと思う。当然、費用も電車代のみ、レンタカーやタクシーを使う必要もなく大変助かっている。このように他都市からのコンタクトの良さは今後貴市が人的交流を図ったり、外部情報を取得する意味でも大変重要なことであると思う。 しかし、現在の立地で一つだけ心配なことは津波である。焼津市の場合、市そのものが平坦な土地であるため多少内陸に入っても状況は変わらないと思うが、是非新庁舎建設の折には津波対策を万全にしてもらいたい。海岸に近い旧市街にある市役所だからこそ、地域住民の安全な避難先としての機能を保有すれば、全国で海岸線の街(殆どがそうですが・・・)も大変に参考になり、焼津市の評価が上がるのではないかと推測する。 再び駅前から港までのエリアが活況を呈することを夢見ています。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
56	<p>焼津市新庁舎の建設地が現庁舎位置に決まり、安心している。 焼津駅に近く、公共交通機関の利便性が活かされる。今後、焼津駅周辺の都市機能の向上も含めて、市民として期待をし、賛成する。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
57	<p>現状、庁舎が老朽化しているとの事で新庁舎の建設は現在地に建替えに賛成する。庁舎が沿岸部から内地への移転は焼津に進出しようとして活気付いている企業にネガティブなイメージを与えてしまう危険がある。そうした企業が増えるということは自分たちの仕事の減少にもつながると思う。このことから、焼津市新庁舎は、現在地へ建設に賛成する。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
58	<p>新庁舎建設場所は現在地で問題ないと思う。賛成である。是非、若者にも優しい市であることもお願いしたい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
59	<p>現在地に建設することに賛成します。私はあまり市役所に行くことがない。なので、一番の負担のかからない案がよいと考える。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
60	<p>新庁舎の設置場所は現在地で良い。大井川庁舎のサービスを強化する。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。</p>
61	<p>企業の誘致をするために、内陸に移転すると企業も撤退してしまう。人口減少を防止するため、本庁舎は今の場所で建設を望む。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>

	意見の要旨	市の考え方
62	<p>1 東海地震などの「レベル1」の地震津波想定域ではないとのこと。</p> <p>2 事業費の財政負担が少ない。</p> <p>3 大井川庁舎の機能の充実。</p> <p>ということで基本構想案に賛成する。</p> <p>なお、スマートインターが間もなく開通されるが、現在、大井川西小東側道路が日増しに交通量が増加しているように思われる。騒音対策として制限速度の配慮、また、農業機械の配慮等を願う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>スマートインター開通後の騒音対策等につきましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
63	<p>新庁舎建設基本構想案現在地エリアに賛成する。</p> <p>駅周辺に住んでいる私には大変ありがたい選択と思っている。「地元で得だから賛成するのだろう」と言われるかもしれないが、地元の損得を抜いて意見を述べさせていただきます。</p> <p>焼津市の海岸線には焼津市の産業が存在し現在も多くの就労者が働いている。また居住者も多く焼津の市街地でもある。将来、東日本大震災と同じような規模の自然災害が発生したとして、新築された市役所そのものが崩壊するわけではないと思う。焼津市の海岸線を多重防護する対策がとられる予定であり、災害後の海岸線内のダメージを最小限に留め、災害復興することが大切と思う。</p> <p>何よりも市街地と市民に安全な対策を示した政策を進めているのに、市役所庁舎が移動してしまったら、暗黙に危ない地域ですよと言っているのと同じである。想定される災害に万全の対策をして、新築庁舎自体が避難棟の役割を果たすものと思う。</p> <p>繰り返しになるが、行政が海岸線から移転することは、旧150号線より東側を見捨てたことになるので、小浜から大井川港までの海岸線は自然災害に強い防護設備をして、焼津行政は津波に強い街づくりをすると同時に、焼津全体が発展する地域毎の振興計画を進めていただきたい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p> <p>また、焼津全体が発展する地域ごとの振興につきましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>
64	<p>私は東京都内で働いているが、仕事の関係で焼津市役所に訪問することあり、駅から近く便利であると思っている。</p> <p>また、年に数回の旅行でも焼津市に宿泊するのを恒例とし、この場合もホテルを焼津駅近くにとり、焼津市役所を目印に海からぐるりと歩きまわり、町並みを楽しんでいる。</p> <p>このような事情から、ぜひ、焼津市役所をこのままの場所に希望する。</p> <p>私は宮崎生まれで、宮崎市役所、宮崎県庁を身近に育ってきた。今でも帰省の際には立ち寄る。市役所などは、普段はあまり気にしていなくても、“変わらずそこにずっとあってほしいもの”だと思う。</p> <p>ただ、津波のことが気になるので、津波対策は必ずお願いしたい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
65	<p>大井川庁舎を無駄なく有効に活かすように徹底討論ください。</p> <p>理由</p> <p>①建築費の節約。</p> <p>②住民サービスのさらなる向上。</p> <p>③危機管理、一極集中をさける。</p> <p>今、日本は東京一極集中で、政治も経済も人も何もかも東京で東京の一人勝ち。その結果、地方との格差がさらに広がっている。我が町、私の住む地区も昔と大きな変化がない。中心部と最西端部ではやむを得ないことなのかも知れないが、心なしか合併以降さらに忘れられた地区になったような気がするがそれは私のひがみでしょうか。大井川庁舎をさらに活かし、建設費を少しでも減らすことを切に願う。</p>	<p>大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。</p>
66	<p>市の構想では30年後、50年後を見越して現在地で立て直す、という結論に達したという話であった。大井川と合併する前なら現在地でも止むを得ないと思うが、大井川と合併した以上、地図全体を見て場所は選定すべきだと思う。</p> <p>今の場所はあまりにも市の北部に寄り過ぎている。将来を見越したら地図上の中心部あたりに移転するほうが良いと思う。</p> <p>駅の近くだから交通の便が良いという説明であったが、交通の便で考えるのであれば、焼津球場あたりが良いのではないかと。50年後に焼津球場を維持できるのか。利用者があるのか。藤枝に立派なものができたので、焼津の施設の稼働率は下がっているのではないかと。高速バスのバス停と鉄道駅が近くにある。こんなに交通の便の良い場所は焼津市内には他にない。他の都市では、都市計画で鉄道と高速バスの融合が計られているのに、そういう事を全く考慮していないと思われる現在地での再建築は理解に苦しむ。</p> <p>市立病院の整備計画もあるようだが、市立病院と市役所整備の二重投資は考え直したほうが良いと思う。市立病院を高層化しそこに市役所と病院を同居させれば用地の問題、建設費の問題も解決出来ると思う。10階建にして上は病院、下は市役所、もしくは同じ高さのものを2棟建て片方は市役所、片方は病院でいいと思う。それでも敷地が足りないとなれば、県警にも協力を求め、焼津警察署まで一体化すれば駐車場や敷地の問題も解決すると思う。</p> <p>民間の施設を借りるのもありだと思う。奈良市にある奈良ファミリーはイオンと近鉄百貨店がメインテナントですが、中には奈良県の出張所や金融機関も入っている。そういう事例をなぜ参考にしないのか。</p> <p>この決定ははじめから現在地でという結論ありきという感じがしてならない。</p>	<p>建設地は、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。</p> <p>焼津駅を中心とする市街地の都市機能の再構築が課題となっており、また、人口減少社会を迎え、国においても都市機能を集約したまちづくりの必要性が示されています。このような中、市役所や病院など、主要な都市機能をバランスよく配置し、都市機能の集約を進めながら、市域全体の発展を図っていく必要があると考えています。</p> <p>焼津駅は、将来的にも市内の公共交通の結節点であり、現在も多くの市民が利用しています。焼津球場についてはご指摘のとおり将来的には廃止を含めた再編の検討が必要となりますが、西焼津駅エリアについては新庁舎建設基本構想検討委員会（市民会議）における8つの候補地からの絞込みの中で高い評価が得られず、候補地に残らなかったという経過です。</p> <p>鉄道と高速バスの融合については、まちづくりにおける貴重なご意見として承ります。</p> <p>市役所新庁舎建設候補地の検討の中では市立総合病院エリアについても複数の建設方法を検討しました。</p> <p>市立総合病院の西側駐車場に建設するケースでは、病院利用者と市役所来庁者の駐車場を確保するため大規模な立体駐車場の整備が必要となります。また、立体駐車場の一部はヘリポートも兼ねる構造とする必要があり、事業費が高額となります。</p> <p>病院を先行して建設し、病院解体後、跡地に庁舎を新設する方法と、病院を先行して建設し、不用となった施設の一部を庁舎に転用する建設方法も検討しました。</p> <p>しかし、新病院と新庁舎を病院の敷地内に建設する場合は、現在でも駐車場が不足している中、病院利用者と庁舎利用者のための大規模な立体駐車場が必要となります。</p> <p>これに加えて、新病院の建設や既存施設の解体までに相当の期間を要し、庁舎移転のスケジュールは大幅に遅れるものと想定され、実現が困難でした。</p> <p>また、立体駐車場の代わりに周辺の用地を取得することについては、土地利用関係の法的な規制もある中、適地があるか、さらに所有者から取得することが可能かどうか不明です。仮に用地を取得できた場合の事業費は、土地の価格などによっても左右されるため、立体駐車場を建設するよりも、場合によっては高くなることもあり得ます。</p> <p>そして、新病院の建設に関しては、開院後においても時代とともに変わる医療環境に増改築等で対応していく必要があり、市役所を併設あるいは合築する場合は、将来の拡張性を大きく損なうこととなります。</p> <p>そのため、市役所と市立病院の併設等は困難と判断しました。</p> <p>検討を進める中でこのような問題点が明らかとなり、これらを踏まえて、建設地を選定しました。</p> <p>施設の複合化や公民連携については、財政負担の観点からも、今後の公共施設再編における重要な視点ととらえており、現在地における建設においても可能性を検討することとしています。</p>
67	<p>現在の場所に建設することに賛成する。理由は、旧市街地に近い、予算が少なく済む、焼津駅に近いこと。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
68	<p>現在の場所に建設することに賛成する。理由は、旧市街地に近いこと、予算が少なく済むこと、焼津駅に近いこと。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
69	<p>自宅が今の場所から近いので便利である。 建築費が安くできるのも理由として、現在地への建設に賛成する。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
70	<p>現在地への建替えに賛成する。 (他29件)</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
71	<p>予算(建設費用)も少なく、現在地に建替える案に賛成である。 (他6件)</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>

	意見の要旨	市の考え方
72	新庁舎の建設は、現在のところに。理由は、予算が少ないこと(費用)、駅周辺と商店等がより発展すること、現在地から移転する場合は周辺の住民は住んでいられなくなる	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
73	今の場所に建て替えるのに賛成である。理由は、予算が低額であること、みんなが分かっている場所であること、中心地の活性化につながる。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
74	新庁舎は現在のところに。理由は、予算が少なく済むこと、市の中心が移動すると市の玄関がさみしくなること。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
75	市長の意見に賛成する。(他15件)	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
76	東益津公民館での説明会に参加した。建設基本構想(案)に賛成する。海岸端に接近し津波の問題が心配だったが十分な対策を施すことで納得。海から離れた場所への移転は、都市環境整備で財政が増大する。加えて市立病院の改築を考えたら経費節約のためにも、また、旧市内の活性化のためにも現場が最適と思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
77	焼津市新庁舎建設について、3候補地から選定された経緯から、現在の庁舎地に建設されることに賛成である。 ① 大きな争点である地震による津波の浸水については、焼津漁港の防波堤の胸壁、漁港入口は水門設置等、今後の防災の強化によって、この問題は解決できると思う。 ② 財政面から考え、建設費が少しでも低額になる現在地への建設が最適と思う。交通の利便性、駐車場の確保から厳しい面があるが、所有地及び庁舎の地下1階に駐車場設置を考えて建設していただきたい。 ③ 焼津駅から近く、また古からの商店街の活性化に力を入れて、にぎやかな商店街の活性化を期待したい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 駐車場については、台数は現状の209台よりも多い315台を想定し、一部の立体化も含めて、建設計画の具体化の中で検討します。 商店街の活性化につきましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
78	現在地から移転することにより、人口が減る心配はないか(減るのが心配)。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
79	津波の防潮堤を確実な実施を願う。 雇用促進のため企業の誘致を推進してください。 スマートインターの共用開始に伴い、周辺地域を焼津の西の玄関口としてまちづくりを進めるため、周辺を商工業地域として開発できるよう願う。 本庁の設置場所は現在地で良いと思う。安心して相談できる役所であるよう、各支所も含め機能を考慮してください。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。 雇用促進のための企業誘致やスマートインター周辺の開発等に関しては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
80	市民の代表者である方々を中心に、色々な角度から検討し最終的に現在地に決定したと聞いている。決定した事に異論はない。防災対策に配慮しながら自信を持って推進してほしい。期待している。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
81	今回発表された新庁舎建設基本構想案現在地エリアに賛成する。 中心市街地で商業活動をしている私達には大変ありがたい選択と思う。「地元で得だから賛成するのだから」と言われるかもしれないが、地元の損得を抜いて意見を述べる。焼津市の海岸線は焼津市の産業根幹が存在し、自然災害発生時の被害想定を多重防護する対策がとられる予定である。市民に安全な対策を示したのに、市役所庁舎が移動したら、暗黙に危ない地域と言っているのと同じ。想定される災害に万全の対策をして、庁舎自身が避難棟の役割を果たすものと思う。 文化センターエリア、市立病院エリアそれぞれに利便性は存在するが、焼津の基幹産業と駅・港周辺の繁栄は、庁舎が移転することでなくなり、津波災害が起きていない日常の焼津市政が減退してしまう。沿岸の企業は移転し、人口の減少にも拍車がかかってくると思われる。事業費の比較は二の次だが、圧縮することには反論はないと思う。 行政が海岸線から移転することは、焼津を見捨てたことになるので、小浜から大井川港までの海岸線は自然災害に強い防護設備をして、焼津全体が発展する地域計画を進めていただきたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。 焼津全体が発展する地域ごとの振興につきましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
82	市長をはじめ、関係者で時間をかけて協議し、現在地ということになったので、現在地へ建設でよいと思う。 せつかく建て直すのだからいろいろな面で利用しやすい市役所ができるよう期待している。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
83	大地震が来た際に、津波が来ることは想定内のことだと思うが、過去何百年前にどのくらいの規模の津波が来たのかは定かではなく、想定内以上の対策をとる必要がある。 現庁舎は、海拔2.2mのところであり、中高層ならば(高さ10m程度となり)地震が来た際、庁舎に対策本部が置かれ市民の安否、対応、通信伝達などができれば良いと考える。 また、新しい土地を見つけて買収すると、何億円かかるのかわからない。 このことから、現庁舎跡地に新庁舎を建設することが妥当だと考えられる。 加えて、旧大井川町の住民は(現庁舎)には遠いため、近隣に新庁舎を建設して欲しいという要望が多いと思われるが、大井川庁舎の業務を拡張して充実していけば現庁舎の場所で良いと思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などにより、市全域の行政サービスの利便性をより一層高めていく考えです。
84	決定した候補地は色々な面を考えたものであり、行政で高台を候補地に挙げている面も見られるが、市からの離脱者を増加させるのみ。また、今後の企業の発展、各産業の進化は望めない。 我々、旧大井川地区住民は庁舎に遠く、旧大井川役場の機能を最大に活かし、高齢者でも用事が充分可能な状態にしてほしいと願う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。
85	広報やいつ臨時号によると「現在地エリア」を選択とある。公共施設としての機能を多面的にとらえた最終結論であるのとらえた。一市民としては、検討委員会の慎重な結論を尊重しなければならぬと思う。 しかし、TV報道で静大教授の防災の観点上「決して安心ではない」との提案をしている理由を聞いた。基本方針で①として取り上げているように、「防災拠点を備えた庁舎」について再度検討していただきたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。 災害対策本部は石津地区の消防防災センターにあり、新庁舎には幹部職員がいち早く災害対策について検討ができる情報機器を備えた会議室や通信機器等を整備するなど、消防防災センターとの連携を強化し、防災機能を高めていく方針です。
86	新庁舎建設基本構想案に賛成する。駅周辺に住んでいる私には大変ありがたい選択と願っている。 焼津市の海岸線は焼津市の産業根幹が存在し、自然災害発生時の被害想定を多重防護する対策がとられる予定である。市民に安全な対策を示したのに、市役所庁舎が移動してしまったり、暗黙に危ない地域と言っているのと同じ。想定される災害に万全の対策をして、庁舎自身が避難棟の役割を果たすものと思う。 小浜から大井川港までの海岸線は自然災害に強い防護設備をしていただき、焼津市の行政は津波に強い街づくりをすると同時に焼津全体が発展する地域毎の振興計画を進めていただきたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。 焼津全体が発展する地域ごとの振興等については、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
87	老朽化しているので、一日も早く建替えすべきである。 少子高齢化なので低コスト及び不必要な投資は避けるべきである。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。

	意見の要旨	市の考え方
88	現在地に建設することに賛成である。 レベルⅠの浸水はなく、レベルⅡでは防災対策により浸水を防げるとの説明であり、県・国に防災対策を早急に進めるよう働きかけてください。 市、内外に、焼津は地震・津波にも大丈夫とアピールするためにも、現在地に他に類の無い立派な市役所を建ててください。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
89	総合病院エリア新築案だと、病院利用者と庁舎利用者が集中し、駐車場は確保できる計画のようですが近隣の道路の混雑が予想される。文化センターエリア新築案も同様のことが考えられる。 病院の機能、文化センター機能、庁舎の機能は分散するのが望ましいと思う。したがって現在地エリア新築案に賛成する。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
90	建設場所は、現地エリアが最良だと思う。焼津駅から近く、徒歩で行ける距離であるため便利であるから。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
91	現地エリアが、中心市街地に位置し焼津駅や周辺商店街に近接した立地なので最良だと思う。 建設費も他のエリアでは建設工事(駐車場等含め)の土地確保のため事業費が増えるのではないかと。 現在のアトレ庁舎は、分散による市民サービスの低下のため、統合してもらいたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
92	現在地に建てる案(現庁舎解体)に賛成する。 ・駅から近く利便性が良い。 ・他の施設が無いので駐車場の取り合うことがない。 ・できるだけ機関の統合をしてほしい(アトレ庁舎が不便)。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
93	現地エリアが、中心市街地に位置し焼津駅や周辺商店街に近接した立地なので最良だと思う。 建設費も他のエリアでは建設工事(駐車場等含め)の土地確保のため事業費が増えるのではないかと。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
94	新庁舎の建設は現在地が最良だと思う。 中心市街地を離れれば、駅周辺が寂れていくと思う。 郊外の大規模店舗等に負けない人を呼び込む魅力ある港町・商店街を求め、併せて検討願う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 人を呼び込む魅力ある港町・商店街については、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
95	新庁舎の建設位置は現在地が良いと思う。 ・駅から近くて利便性が良い。 ・港町焼津のシンボル。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
96	新市庁舎を現在位置に建てることについては反対である。 理由1:津波浸水域でないとのことだが、今後の温暖化等気象条件の変化により想定外の事が起こり得ると考える。 理由2:災害時に庁舎自体は安全であっても、庁舎へ行くのにインフラ部分も含め安全に行くことができないと思う。 理由3:新庁舎ができることでまち自体が活性化するというのは、とんでもない考えである。現在の市役所周りの商店街を見ると20代の若者が生き生きと店を営んでいる様子が見受けられない。この状況は新庁舎になっても変わらないと思う。 理由4:新庁舎から見た景観は現在位置よりも市立病院の所の方がより美しい。駿河湾が一望できる。建物については複合施設とする。例えば1階～7階を市庁舎、8階以上を病院関係者の住居、最上階を展望室および食堂、屋上をヘリポートにすると、商店を一部の階に入れ、人の出入りの多い庁舎にする。 理由5:庁舎の位置としては、より市の中心にするべきである、現在位置では大井川地区の人からは遠すぎる。	国連の組織であるIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が公開した報告書(「IPCC第5次評価報告書」)では、二酸化炭素濃度などによる複数のシナリオを設定した上で、今世紀末(2100年)までの世界平均気温の変化や海面水位の上昇を予測し、このような予測に基づいて二酸化炭素排出量の削減に向けた世界的な取り組みが行われていると述べている。 このような気象変動による環境変化の予測は、二酸化炭素排出量抑制を主とした環境政策の側面から行われているものと認識しており、また、個別の場所の海面上昇を予測しているものでもないため、津波浸水想定において加味すべきものとはなっていません。 科学的な知見に基づく津波浸水想定によれば、発生確率も含め、現在地における津波浸水の可能性は非常に低いものとなっており、また、市が所有するボーリングデータによれば、現庁舎敷地及び周辺についても液状化危険度も低いものとなっており、災害時における往来も確保できるものと判断しています。 建設候補地の検討の中では市立総合病院エリアについても複数の建設方法を検討しました。市立総合病院の西側駐車場に建設するケースでは、病院利用者と市役所来庁舎の駐車場を確保するため大規模な立体駐車場の整備が必要となります。また、立体駐車場の一部はヘリポートも兼ねる構造とする必要があり、事業費が高額となります。病院を先行して建設し、病院解体後、跡地に庁舎を新設する方法と、病院を先行して建設し、不用となった施設の一部を庁舎に転用する建設方法も検討しました。しかし、新病院と新庁舎を病院の敷地内に建設する場合は、現在でも駐車場が不足している中、病院利用者と庁舎利用者のための大規模な立体駐車場が必要となります。これに加えて、新病院の建設や既存施設の解体までに相当の期間を要し、庁舎移転のスケジュールは大幅に遅れるものと想定され、実現が困難でした。また、立体駐車場の代わりに周辺の用地を取得することについては、土地利用関係の法的な規制もある中、適地があるか、さらに所有者から取得することが可能かどうか不明です。仮に用地を取得できた場合の事業費は、土地の価格などによっても左右されるため、立体駐車場を建設するよりも、場合によっては高くなることもあり得ます。 また、新病院の建設に関しては、開院後においても時代とともに変わる医療環境に増改築等に対応していく必要があり、建物や敷地内における将来の拡張性を確保する必要がありますが、市役所を併設あるいは合築する場合は、この拡張性を損なうこととなります。 そのため、市役所と市立病院の併設等は困難と判断しました。 市の人口重心からの距離についても、「利便性」の中の項目の一つとして評価し、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。
97	(1)単に海が近いから危険ではなく、港の防波堤はかさ上げ等、強化策を講ずるので県の調査では浸水被害は無くなるとの結果が出ており、庁舎の浸水は考えにくい。 (2)費用対比についても、市は財政が厳しく、建設費が他の場所に比べて安価ですむこと。 (3)焼津駅を中心に近隣には、港があり歴史、文化、産業構造等を維持し活性化を図り、まちづくりを残していきたい。 (4)早期に建設場所を決定しないと、合併特例債の手続きに間に合わない。 (5)十分な審議をつくして、市民会議で決定した事であり、賛成である。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
98	現在地エリアは中心市街地に位置し、焼津駅及び周辺の商店街に近接しており、焼津港に近く風土・歴史・産業構造などを反映するシンボルとしてふさわしい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
99	焼津港、焼津駅は市のシンボルであり、まちの活性化、歴史、風土を考えると現在地が最適である。 市の財政状況を考慮すると、現在地への建設が良いと考える。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
100	焼津駅を中心とした交通利便性、歴史、文化、水産業を維持し、中心市街地の活性化が図られる。 港の防波堤を郷土構造にすることにより、県の調査ではL1、L2に耐えられるので浸水被害はなくなり、心配はない。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
101	(1)港の防波堤の強化するのでL1、L2が来ても浸水は無いので心配不必要、安全である。 (2)市は裕福な財政力ではなく現在地での建設費用が他の場所に比べ抑えられる。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。

	意見の要旨	市の考え方
102	<p>新庁舎は、現庁舎を解体、跡地建設に賛成。 その理由は、焼津市は過去に大赤字を生じさせ県内は元より全国的にも話題となった。その解消には時代の波、高度成長に助けられ、無事に乗り越えることができたと思う。時代は少子高齢化、景気も今一つ活気薄の時であり、いたずらに箱物に金を費やすことはない。一円でも安く上げるべき。 次新庁舎が及ぼす地域への影響を鑑みると、現庁舎の立ち位置は、他の候補地と見比べて市街地への利便性・活性化が著しく違うと思う。 アクセスも現在地で充分ではないか。 焼津市が今後取り組まなければならない諸事業の費用の大元となる税収は、大きな増額は見込み薄。ならば必要最小限の費用で取り掛かるべき。一番安く上がる現庁舎跡地建設を支持し、後押しする。</p>	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
103	<p>場所については良いと思う。(建設費が安価) 自分としては家から近い。 つくるなら静岡文化会館より大きく造ってほしい。 津波対策が講じられているので、浸水は無い。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 新庁舎の規模想定については、過剰な規模となることがないよう、総務省の地方債同意基準に基づき算出した面積(17,283㎡)を元に、将来の職員数の減少を見越した大きさを想定し、15,100㎡としています。</p>
104	<p>防波堤の耐津波強化構造により、現在地は浸水地域ではなくなるのでよいと思う。 建設費用が他の候補地に比べ安価で、財政負担が少なくて済む。また、移転する場合、用地取得や新施設の建設に長期の期間が必要になる。 焼津駅を中心に市街地の活性化ができる。また、焼津港と近接しており、歴史や風土、文化・産業構造を維持する場所だと思う。 以上により、賛成である。</p>	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
105	防潮堤等、津波に関しては、県の対策も踏まえ強化されると思われ、建設コストを考慮しても現在地が最善策と考える。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
106	<p>焼津駅を中心とした交通利便性、歴史、文化、水産業を維持し、中心市街地の活性化が図られる。 港の防波堤を郷土構造にすることにより、県の調査ではL1、L2に耐えられるので浸水被害はなくなり、心配はない。</p>	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
107	<p>現在地エリアを建設地にすることがコストパフォーマンス面で一番で賛成である。 焼津港、小川港の港口へのゲート設置を早期実現し、市民を安心させてください。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
108	<p>現在地へ建設することに賛成する。 自分は焼津市に住んでいないが、将来的に新しい庁舎は必ず必要になると思う。 地震津波についての意見を聞いていたら話が進んでいかないと思う。</p>	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
109	<p>現在地に建設することに賛成。候補地はいくつかあるが、将来の焼津の発展を考えると現在の場所で良いと思う。地震津波対策についても充分検討してもらいたいと思う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
110	<p>新庁舎の建設基本構想(案)について基本的に賛成する。古来焼津は「港町」で繁栄して来たものが現在衰退している。さらに庁舎が港を離れば港町の名声に対する悪影響は計り知れない。 また、先日参加した市民説明会の説明によれば、他地域では30億円も経費がかさむとのこと。現在の市の財政から到底考えられない。</p>	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
111	<p>焼津市新庁舎建設について、現在の場所に建てることは絶対に反対である。 (1) 地震津波が来ると言う前提の下で国県市を毎年市民全員が防災訓練をやり地震津波が来たら海岸から急いで逃げよう指導して一人でも安全な場所に避難するように訓練しているときに、防災の中核である市職員が海に向かい現在の庁舎に行こうとしても周りの道路やインフラ部分の障害で行くことができずに市民の安全を守れない事態になりかねない。想定外という言い訳は許されない。 (2) 新庁舎の位置は市の中心にするべき。市立病院付近が焼津地区・大井川地区両方とも行きやすく、道路もインフラの面でも整っている。 市長の言う焼津市の活性化は新庁舎とは全く別問題。これからの港町焼津市を活性化するには漁協水産加工会社地元の農産物等それぞれに焼津の良いものがたくさんある。企業、商店、漁協、農協それぞれの立場で協力し、旧港跡地や市役所の跡地を朝市やさかなセンターのような観光名所にして県外からの観光客を呼び込む努力をしていきましょう。 (3) 市長は焼津地区から大井川地区全域を見ながら市政に臨むべき。</p>	<p>大きな地震が発生した際は、まず津波避難が優先されますが、災害対策本部は石津地区の消防防災センターにあり、勤務時間外に発災した場合は、職員は消防防災センターへ参集します。新庁舎が完成した後も引き続きこの体制を維持することとしており、新庁舎にはいち早く災害対策について検討ができる情報機器を備えた会議室や、通信機器等を整備していく方針です。 また、科学的な知見に基づく津波浸水想定によれば、発生確率も含め、現在地における津波浸水の可能性は非常に低いものとなっており、また、市が所有するボーリングデータによれば、現庁舎敷地及び周辺についても液状化危険度も低いものとなっており、災害時における往来も確保できるものと判断しています。 建設地は、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。 焼津駅を中心とする市街地の都市機能の再構築が課題となっており、また、人口減少社会を迎え、国においても都市機能を集約したまちづくりの必要性が示されています。このような中、市役所や病院など、主要な都市機能をバランスよく配置し、都市機能の集約を進めながら、市域全体の発展を図っていく必要があると考えています。 現在策定中の中心市街地活性化計画では、焼津駅、焼津港、市役所の3つ拠点を回遊することで賑わいを創出する構想としており、ご提案の活性化の視点も今後の参考とさせていただきます。</p>
112	現在地への建設を望む。理由は、居住地から近いこと。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
113	<p>1 津波に関して反対する人が多いと思う。しかしこの件については地元、県、国との連携でしっかり対策を講じれば良いこと。 2 焼津市から住民の移住が多いとのこと。これを食い止めるにも現在地で根をおろし焼津のメッセージを送るべき。 3 8候補地から3候補地へ絞り、現在地を選定したとのこと。なるべく経費は抑えて地方創生への考えで進んで欲しい。外部のことより内部を充実することを期待する。 以上により、建設地は現在地とすることに賛成する。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 基本構想案の基本方針の中で、よりよい市民サービスを行うため、事務効率の高い機能的な庁舎を目指すこととしています。</p>
114	<p>新庁舎が現在位置に建て直すということになって大井川地区の私達にとっても残念。高齢になると大井川地区から焼津市役所までなかなかの距離がある。車で行くのも大変である。さらに車に乗れない人はバスで行かなければならない。 大井川庁舎でもたくさんの手続きができるようになればとても助かる。是非お願いしたいと思う。さらに津波対策としてしっかりした安全な防潮堤を造ってほしい。</p>	<p>大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
115	<p>「現在地」に建設することに賛成する。 市内にある会社に勤務しており、会社が近く行きやすい。 また津波の事を考えると遠ざけるべきかもしれないが、港が見える位置の方が、焼津市の象徴として適していると思う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>

	意見の要旨	市の考え方
116	現在地エリアの新庁舎建設について賛成する。 焼津駅、駅前通り、商店街等の活性化を望む。年々街も沈静化し人の歩く姿も少なくなるばかりである。焼津という街を県、市外にも発進させるためには、やはり現庁舎の敷地での建設を希望する。 人の集う新庁舎であってほしい。子供も大人も出掛けやすい建築を望む。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 市民に親しまれる庁舎の実現に向けて、子供も大人も出掛けやすい建築の観点を今後の計画の具体化において参考とさせていただきます。 焼津駅、駅前通り、商店街の活性化については、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
117	昔の焼津駅は商人が多かったから栄えていた。焼津駅周辺から水産高校通りの道を区画整理し、人の流れを作って活気ある焼津市を作って欲しい。 他市をみても駅周辺は栄えているものであり、市役所が移転することは考えられない。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 焼津駅から水産高校通りの道を区画整理することにつきましては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
118	現在地がお金の面でも利便性の面でも最も良いと思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
119	今の場所に建設に賛成である。 コストも少なく、それなりの対応をとれば大丈夫と考えられる。 税金を真剣に使ってほしい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
120	事業費の安価な案に賛成である。 地域活性化の起爆剤としてください。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
121	新市役所(新庁舎)の現状維持について賛成する。 焼津市は大崩れ及び焼津港から大井、御前崎方面に沿って山がなく、長細い市であり、現状から、駅を中心に周囲4kmの東西南北を改革して行くべきである。 なお、港湾の津波対策として堤防の嵩上げをして市の繁栄を目的としてもらいたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
122	日本経済新聞2月2日(茶ばしら)のコラム。静岡沼津、焼津、ワースト3市。これ以上悪くしないようにしてほしいと思っている。 新庁舎は現在の場所にしてほしい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
123	水産業＝焼津は永遠です。 「現地エリア選択」に基づいて進めてください。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
124	自然災害に強い安全な場所が高齢化してきている地域の近くにあると安心できる。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
125	焼津駅前、その周辺が過疎化しているのに、新庁舎を他に移すということはもっともと焼津駅にも人の足が遠のく。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
126	説明会で、津波対策には充分配慮されているとのことなので、1階に下駄をはかせる建築方式で大丈夫と思う。 本計画で進めてください。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
127	市役所だけ安全な場所に移ってもその辺りがどんどんさみしい所になってしまう。 今の所に安全な建物をつくって欲しいと思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
128	現在の場所への建替えに賛成である。 焼津駅周辺や商店街の活性化のため現在地が最適と思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
129	現在の場所への建替えに賛成である。 焼津駅周辺や商店街の活性化のため現在地が最適と思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
130	現在地エリア建設に賛成する。 安全性や経費面、そして市内活性化等多面で現在地が最適と思う。 新庁舎最上階に、港や駿河湾が一望できる「市民ふれあいサロン」などを整備していただき、親しみやすい新庁舎建設をお願いしたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 市役所最上階に市民ふれあいサロンなどを整備する等につきましては、今後の建設計画の具体化の検討において参考とさせていただきます。
131	新庁舎は今の所へ建設をお願いする。 焼津駅前の寂れていることはとても淋しい。他の町は駅前には必ずにぎわっている。まして市役所まで遠くに行ってしまったらこの町は住む人もなくなる。 税金を大事に使うことはとても良い事と思う。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
132	現在地エリアへの建設基本構想(案)に賛成する。 レベル1、2の想定過去調査結果発表を見て、根拠有る選択だと思われる。 日本を代表する漁業、水産業の町として早急に災害と強固な耐震性を持った新庁舎及び周辺整備を望む。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。
133	新庁舎の建設地を「現在地エリア」とする基本構想に賛成する。 「地方創生」の推進や東京オリンピックの開催、グローバル化の進展などにより今後ますます国内の交流人口や海外からのインバウンドが増加することが見込まれる中、交通インフラは人を迎えるうえで重要な意味を持つ。その意味でもJR焼津駅、東名高速焼津I.Cなどに近い「現在地」は、焼津市の「顔」としてふさわしい立地である。 また、市にとって最大の地域資源である「焼津港」の活性化の核となる施設として、港の隣接地にあることは重要な役割をもつと考える。 建設コスト削減の面からも現在地が適している。 ことさら防災面を考慮し、内陸部への移転を推進することは、周辺住民はもとより市内外の住民に過剰な不安を与えることになる。それよりも、市は沿岸地域の災害対策に万全を期し、避難機能を備えた施設とすることで焼津市の災害対策モデルを示してほしい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。また、構想案では、万が一の津波浸水に備えて、新庁舎への津波避難機能を備えることとしています。
134	私は市内北部に住む男性。現在地に建て替える案に賛成である。 現在地に建設用地が確保でき、災害に対し対応が可能ならば、逃避することなく、地域住民と一体となって業務を遂行してもらいたい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。
135	焼津市の将来及び市全体の事を考えると現在のところに建設するのがベターだと思う。 災害時に津波のことを考えると他の候補の方がいいと思う人がいると思うが、津波のことがあるからこそ現在地でないと沿岸の土地評価を下げるだけでなく街づくりに大変な障害になると思う。現在地に建設することは、行政自らが焼津市は災害に強く安心安全だということを市内外に示し、さらに発展させ「住みたくなる街・焼津」にするた、え、是非頑張ってください。 地震が来ても津波被害のない街にすれば問題ない。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。

	意見の要旨	市の考え方
136	<p>焼津市新庁舎建設構想(案)で現在の庁舎の所に再度建てるということに対して反対である。市民の「安全」「安心」を考えた場合、地震が発生し、津波の危険が少しでもある以上、現在の場所は好ましくは無いのではないかと考える。もし津波が発生し、市役所の機能がマヒし、さらに道路の交通状況もよくない現在の場所では、救助拠点としても問題があるのではないかと考える。</p> <p>また、漁業も焼津としての位置付けも重要と考えるが、他の方法で解決できるのではないかと考える。</p> <p>元の大井川町との合併で住民感情の中、新庁舎はできるだけ地震津波の影響を避け、元大井川町と焼津市の住民が行きやすい場所で、警察、消防署、病院との連絡がスムーズに行える場所が良いのではないかと考える。</p>	<p>科学的な知見に基づく津波浸水想定によれば、発生確率も含め、現在地における津波浸水の可能性は非常に低いものとなっており、また、市が所有するボーリングデータによれば、現庁舎敷地及び周辺についても液状化危険度も低いものとなっており、災害時における往来も確保できるものと判断しています。</p> <p>消防防災センターにおける災害対策本部の機能との連携の強化も含め、庁舎整備を進めたいと考えています。</p> <p>市役所新庁舎建設候補地の検討の中では市立総合病院エリアについても複数の建設方法を検討しました。</p> <p>市立総合病院の西側駐車場に建設するケースでは、病院利用者と市役所来庁者の駐車場を確保するため大規模な立体駐車場の整備が必要となります。また、立体駐車場の一部はヘリポートも兼ねる構造とする必要があり、事業費が高額となります。</p> <p>病院を先行して建設し、病院解体後、跡地に庁舎を新設する方法と、病院を先行して建設し、不用となった施設の一部を庁舎に転用する建設方法も検討しました。</p> <p>しかし、新病院と新庁舎を病院の敷地内に建設する場合は、現在でも駐車場が不足している中、病院利用者と庁舎利用者のための大規模な立体駐車場が必要となります。</p> <p>これに加えて、新病院の建設や既存施設の解体までに相当の期間を要し、庁舎移転のスケジュールは大幅に遅れるものと想定され、実現が困難でした。</p> <p>また、立体駐車場の代わりに周辺の用地を取得することについては、土地利用関係の法的な規制もある中、適地があるか、さらに所有者から取得することが可能かどうか不明です。仮に用地を取得できた場合の事業費は、土地の価格などによっても左右されるため、立体駐車場を建設するよりも、場合によっては高くなることもあり得ます。</p> <p>そして、新病院の建設に関しては、開院後においても時代とともに変わる医療環境に増改築等に対応していく必要があり、市役所を併設あるいは合築する場合は、将来の拡張性を大きく損なうこととなります。</p> <p>そのため、市役所と市立病院の併設等は困難と判断しました。</p>
137	<p>本庁を内陸部へ建設することが決定すると、市民が他の行政区へ越して人口の減少が益々顕著になる。</p> <p>雇用の誘致をはかるとともに活力ある街づくりを進めるため、本庁舎の設置場所は現在地で賛成である。なお、支所機能の充実をはかり支所で用事が足りる事を望む。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。</p>
138	<p>NHKで2月2日に「海底地滑り」についてラジオ放送があった。</p> <p>他所(国・県・他市町村)からみてどう思われるかということについて、私も長年市外の各所に勤めているが、そこで地元の話が出る。現在地へ市庁舎を建てれば「焼津市は何をやっているんだ。」と嘲笑的になる。これは、個人の問題ではなく焼津市の名誉の問題。</p> <p>防災面の「心理面の評価減」について、多くの市民が不安に感じている場所へ市庁舎を建てると、市機能が失われるのではないかと考えるのは当然。これは、理屈や説明で说得できるものではなく、心理的なものなので、物理的に避けたいものならともかく他の場所を考えるべき。</p>	<p>建設地については、「まちづくり」、「防災面」、「利便性」、及び事業費やスケジュールなどの「事業実施面」について総合的に評価し、選定しました。</p> <p>また、防災面にも配慮し、現在の科学的な知見に基づく津波浸水想定に基づき判断しています。</p> <p>焼津市は、約15kmもの海岸線を有するまちです。海が近いからというだけで危険というイメージや風評が広がることは避けるべきであり、科学的な知見に基づく津波浸水想定などを正しく受け止めて対策を講じ、沿岸部に限らず、市民の皆様が安心・安全に暮らしていただけるよう施策を推進します。</p> <p>なお、報道のあった「海底地滑り」については、静岡大学の北村教授によるボーリング調査により、一つの仮説として報告されているものですが、その規模や影響、発生の可能性など、科学的に確立されたものではありません。</p>
139	<p>駅前から連なるために、現在の庁舎に建設を強く希望する。</p> <p>津波のための対策を強く望み、市民のために努力して欲しい。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>地震・津波対策については、引き続き、国、県と協力して対策を推進します。</p>
140	<p>「現在地」に建設することに賛成する。</p> <p>現状の地震津波対策を充実させる。</p> <p>建設費の問題。</p> <p>現在地が市民の利用しやすい場所にあるように思われる。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
141	<p>現在地に建設する案に賛成である。</p> <p>焼津に移り住んで30年以上となるが、焼津駅周辺の町並みは基本的に昔と変わらない。藤枝市や島田市の駅前周辺が区画整理されてすっきりし、道路も広く整備され、近代都市の玄関口に相応しく変貌を遂げたのに比べ、あまりにも対照的である。</p> <p>焼津市は、国内有数の漁港をどのように活かしていけるかが再生のポイントになると思う。</p> <p>中心市街地のこれ以上の空洞化を防ぐためにも、焼津駅、市役所そして港の機能をリンクさせることができる現在地エリアでの建設以外にはあり得ないと思う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p>
142	<p>現在地は焼津港に近く、水産都市焼津にとっては焼津を象徴する場所である。よって現在地案を支持する。</p> <p>市役所が現在地から離れる(逃げる)ようでは水産都市焼津の名折れである。市長説明によると事業費やまちづくり面、防災面、事業実施面、利便性などを総合的に判断したことであり、また2年半の時間をかけ十分に議論・検討された様子である。</p> <p>現在、進行中の津波対策と合わせ、現在地で早期着工・完成を期待するところである。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>防災対策につきましては引き続き、国、県と協力して実施してまいります。</p>
143	<p>津波に対する安心安全を前提とし、JR焼津駅を含む焼津市の中心市街地の維持活性化と併せて、建設事業費を圧縮した「新庁舎建設基本構想(案)」に賛成する。当構想の実現を力強く推進してください。</p> <p>一方、より多くの市民に理解・賛同を得るために、焼津市全域の公共施設の位置・機能の発展に対する長・中期的な考え方を説明するとともに、新庁舎の遠隔地域、特に大井川地域に対する配慮(医療や看護学校あるいは公式スポーツ施設等の誘致など)や大井川庁舎の機能について具体的に説得する努力が必要であると思う。</p>	<p>基本構想案に賛成のご意見として承ります。</p> <p>焼津市全体の公共施設の位置・機能の発展に対する長・中期的な考え方につきましては、公共施設マネジメント基本計画や公共施設再編プラン、あるいは現在、策定中の都市計画マスタープランや中心市街地活性化基本計画などの各計画に基づき、市民の皆様のご意見も伺いながら、市全体の公共施設の適正な配置や都市機能の整備を検討していきます。</p>
144	<p>焼津市は一方が長い海岸線に面する市で、海拔は低い地理的環境である。地震・津波の影響を念頭におくことは当然のことである。</p> <p>海という資源を活かすことは漁業に限らず、多方面あるはず。一方、市役所は市民生活の中核を担う、責任のある場所である。市内各地に住む市民からすれば、頼りの場所です、すなわち利用しやすく、安全安心の処にあって欲しい。</p> <p>① 市庁舎に限らないが、市民生活に密着した公共建物は、大きいものを1カ所にと決めてしまうことはないと思う。機能別にある程度分散、という考えも大事かと思う。新しい庁舎は、コンパクトが良いと思う。直接市民が出向くことの多い住民課、福祉課などは、サテライト的に住民に近く置くことも考えて欲しい。そうすれば、駐車場も解決していくのではないかと。</p> <p>② 若い世代に考えをもっと十分に聞くことが大事だと考える。「決まったから説明する」のではなく、「提案するので、よりよくするための前向きな意見を」と求めることが大事ではないか。</p> <p>これからも公共物の耐用年数の問題が出てくるかと思うが、分散させながらネットワークで結び合うことを検討して欲しい。</p> <p>海を活かすこととし、市役所新築場所の問題は切り離して考えるべきである。この海岸線を活かすこと、漁業と市民生活、健康づくり、観光資源、等々、これも若い世代に大いにアイデアを求めながら、市民の英知を市役所の力で募っていただいて、素敵な海岸の町にしたいと思う。</p>	<p>庁舎機能のサテライト的な分散に関しては、大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに市民の皆さまの利便性を高めていく考えです。</p> <p>また、公共施設にしましては、公共施設マネジメント基本計画や公共施設再編プランなどに基づき、今後の社会情勢などを考慮し、市民の皆さまのご意見も伺いながら、適切な機能配置を検討していきます。</p>

	意見の要旨	市の考え方
145	大井川庁舎のサービスカウンターの強化を図る。 企業の誘致を図る。 新庁舎の設置場所は、現在地に賛成する。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。 大井川庁舎にある市民サービスセンターについては機能を継続するとともに、住民票等のコンビニ交付の開始などを含め、さらに利便性を高めていく考えです。 また、企業の誘致に関しては、本基本構想には直接反映できませんが、今後の参考とさせていただきます。
146	焼津市新庁舎建設について、現在地に建替えを希望する。 震災以降は海岸近くの企業撤退等が見受けられたが、震災後5年経、みなさまの企業誘致の努力により、新設の工業建築物を見ることがある。新庁舎が移転すれば海岸近くに進出する企業はないと思う。 市が安全であることを率先して証明するために、現在地に建替える方向で進めてほしい。	基本構想案に賛成のご意見として承ります。